

# 大分県における地域・職域連携の推進

大分県福祉保健部

参事監兼健康づくり支援課長

藤内 修二

# 大分県における健康づくり事業の体系

## 1 健康寿命延伸県民運動推進事業

健康寿命日本一おおいた創造会議や県民大会の開催，健康寿命延伸推進月間(10月)，おうえん企業との連携

健康寿命の延伸を阻む生活習慣病の予防



### 塩分摂取が多く，野菜摂取が少ない

・男女とも、野菜摂取量が不足

【男性】279.6g 【女性】293.2g

特に，若い世代で不足！

・塩分摂取も目標を上回る

【男性】10.4g 【女性】8.8g



### 働く世代における健康づくり

・50歳を過ぎると生活習慣病の受療率が急増

35～44歳 45～54歳

受療率 150 → 521 3.5倍！

→ 健康寿命を縮めることになっていた

・働く世代へのアプローチが不十分

職域における健康支援リソースの不足

### 歩数の不足

・男女とも、歩数「1,500歩/日」不足

男性 7,599歩 (目標 9,000歩)

女性 6,954歩 (目標 8,500歩)



## 2 「食」環境の整備

(1)「まず野菜、もっと野菜」プロジェクト事業

野菜摂取促進に向け、生産・流通・販売等関係者による協議会の設置

若い世代の健康無関心層が野菜を食べたくなる仕掛け

野菜～野菜～野菜～♪

(2)「うま塩」プロジェクトの推進

旨味成分を上手く使った美味しい減塩レシピの普及

(3) 外食・中食における協力店の拡大

野菜たっぷりや「うま塩」メニュー提供店の登録と紹介



## 3 地域・職域連携の推進

(1)「健康経営」事業の登録と認定制度の推進

29年度末 1,200社 → 2,000社(2020年度末)をめざす

(2)健康経営推進員の養成研修等事業

養成研修会の開催、推進員による登録勧奨

(3)健康経営セミナー等，質の向上支援事業

健康経営の実践方法・雇用の多様化に対応するセミナー



## 4 健康ポイントの付与による健康づくりの推進

(1)健康アプリ「おおいた歩得(あるとつく)」の開発と運営

アプリの本格実施(県内全域)、アプリ利用者拡大への対応

(2)「私もおおいた歩得(あるとつく)」クロスメディア戦略事業

テレビ番組・CM、ネット、おうえん企業等での情報発信

あるとつく



# 大分県における地域・職域連携の経過（1）

H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25

県の  
協議会



保険者協議会  
市町村保健師代表  
労働局, 産業保健推進センター  
社会保険事務局 → **協会けんぽ**  
保健事業団, 県医師会  
商工会議所連合会  
地域成人病健診センター  
健康保険組合代表

課題の共有に終わり,  
具体的なアクションに  
はつながらず, 参加者  
から, 不満の声が..

協会けんぽ  
から医療費  
健診データ  
分析結果の  
提供

↑  
課題解決のための方向性  
を共有できていなかった

全保健所で開催

二次医療圏  
の協議会



保健所, 市町村担当課  
労働基準監督署  
地域産業保健センター  
郡市医師会  
社会保険事務所 → **協会けんぽ**  
商工会議所・商工会  
健診センター  
健康保険組合代表

事業所を対象に  
ニーズ調査を行う  
保健所も

協会けんぽ  
から医療費  
健診データ  
分析結果の  
提供

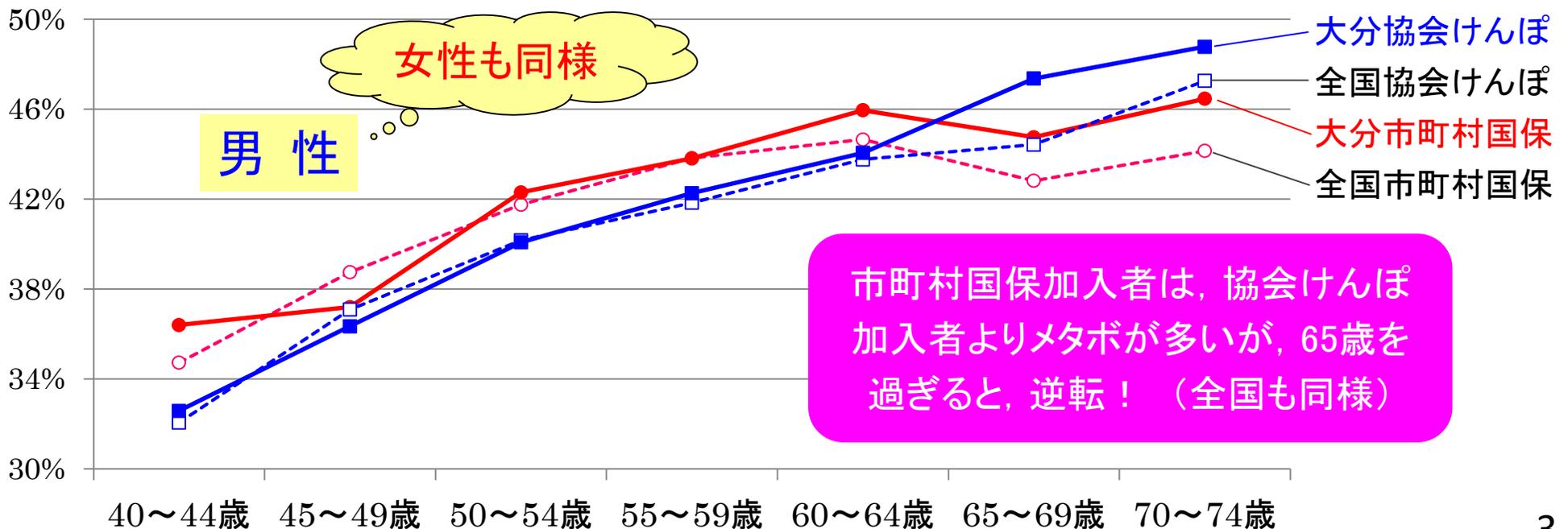
↓  
健康保険  
委員任命 →

健康保険委員がいる  
地域の5~10事業所  
が参加して具体的な  
議論をする保健所も

# 協会けんぽからのデータ提供で分かったこと

- 協会けんぽのレセプト分析による受療状況は、国保と同様に高血圧、糖尿病、高脂血症などの循環器疾患の受療率が高かった。
- 協会けんぽの従業員の住所地別分析では、国保でも糖尿病が多い自治体から通う従業員において、糖尿病の受療率が高かった。
- 特定健診(平成23年度)のメタボ該当者+予備群割合は60歳まではほぼ全国と同じであったが、60歳を過ぎると、全国を上回っていた。

## メタボ該当者+予備群の割合(平成23年度特定健診)



# 大分県民にメタボが多い理由

## 平成26年度の特定健診(市町村国保分)の問診項目

○20歳から10kg以上体重が増えた女性が多い

標準化該当比 男性 97.1 女性 103.5

○人と比較して食べる速度が速い人が多い

標準化該当比 男性 114.1 女性 113.1

○夕食後に間食をとることが週に3回以上ある人が多い

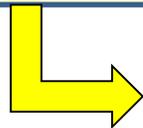
標準化該当比 男性 120.3 女性 127.9

○朝食を抜くことが週3回以上ある女性が多い

標準化該当比 男性 98.0 女性 104.0

○同性・同世代の人と比較して歩くのが遅い人が多い

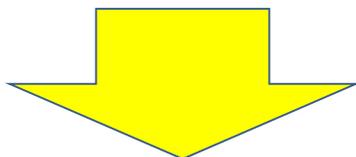
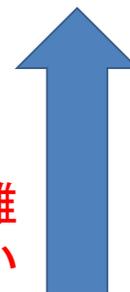
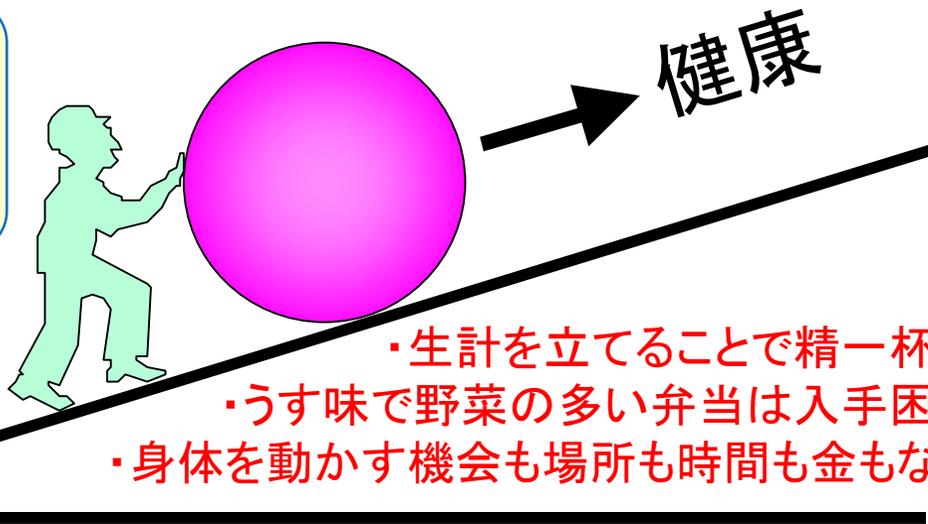
標準化該当比 男性 104.4 女性 104.5



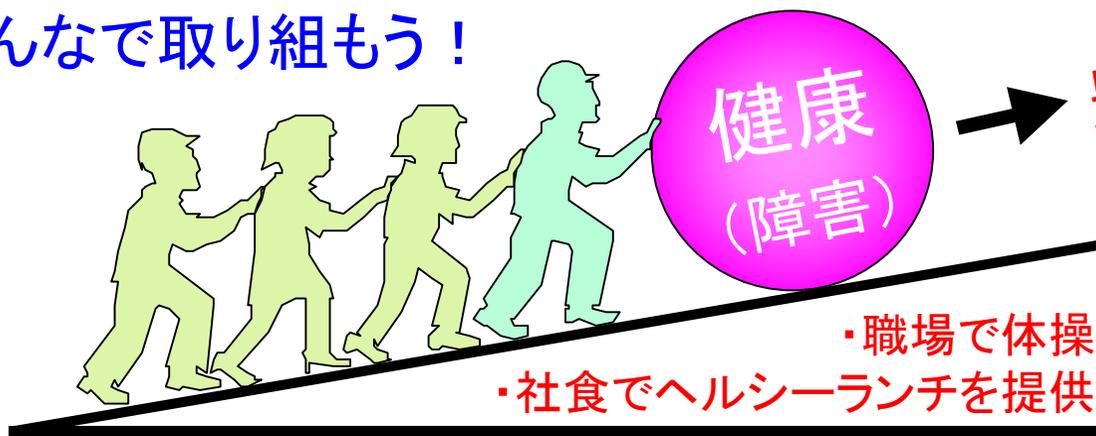
若いうちからの生活習慣の改善が不可欠！

# 働く世代の健康づくりは、容易ではない！

塩分マイナス3g  
野菜 350g 摂取  
歩数プラス1,500歩



職場でみんなできり組もう！



豊かな人生

健康を支援する  
環境づくり  
(事業所が応援)<sub>5</sub>

# 協会けんぽ大分支部の「一社一健康宣言」(H25年度～)

## ステップ1

### ①健康宣言!



【企業】

<事業主>

私たちは、「社員一人一人が、心身ともに元気で働ける会社」＝健康企業を目指します。

## 健康推進企業 一社一健康宣言

社員の皆さんと取り組む

### ◆健康診断の実施

法令に従い、社員に対して定期健康診断を実施します。  
 ・毎年、定期健診を受けましょう  
 健康への第一歩は健診を受けることから始まります。毎年の健診の受診を促進していきます。

### ◆検査・治療を推奨

健診の結果等で、再検査や治療の必要性があった場合、医療機関への受診を推奨します。  
 ・適切な措置をとります  
 身体の状態を軽視せず、医療機関への受診等、早期対応を奨励していきます。

### ◆生活習慣改善応援

脳梗塞、脳卒中、糖尿病などにかからないように、協会けんぽと支援事業を行います。  
 ・生活習慣を改善しましょう  
 運動や食事の見直し、そして禁煙等、いつまでも健康で働くよう自主的に、生活習慣を見直す取り組みを実施します。

Support by 全国健康保険協会大分支部

## ステップ2

【企業】

社内の健康増進

【企業】



<事業主>



<従業員>



企業の健康リスクの「見える化」



健診結果の「見える化」

## ②見える化したデータ提供

【協会けんぽ】



## ステップ3

事例紹介

経営理念の浸透

## ③取組み促進の支援

【協会けんぽ】



# 協会けんぽ大分支部との協働

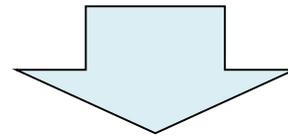
## 大分県の課題

平成22年の健康寿命が男女とも全国で下位！ 青壮年期の健康づくりの推進が不可欠！

## 協会けんぽの思い

「一社一健康宣言」した企業に対して十分な支援ができず、宣言をした企業のモチベーション低下が心配

相互の強みを生かした連携が大分県全体の健康づくりにつながる



平成26年9月

県商工労働部や九州経済産業局等との意見交換会

- ◆ 「大分県の健康づくり推進に向けた連携に関する協定書」締結
- ◆ 健康経営事業所拡大事業の開始

→ 「一社一健康宣言」事業所を県に登録，県独自の要件で認定を行う

# 健康経営事業所の登録制度の開始

従業員の**健康**を支えたい事業所を応援!



## 「健康経営事業所」を 認定します

認定のための5つの要件

「社員の健康が気になるな…」  
「会社で健康づくりに取り組みたい！」  
「健康管理って何をしたら良いの？」

まずは**登録!**

次に**実践!**

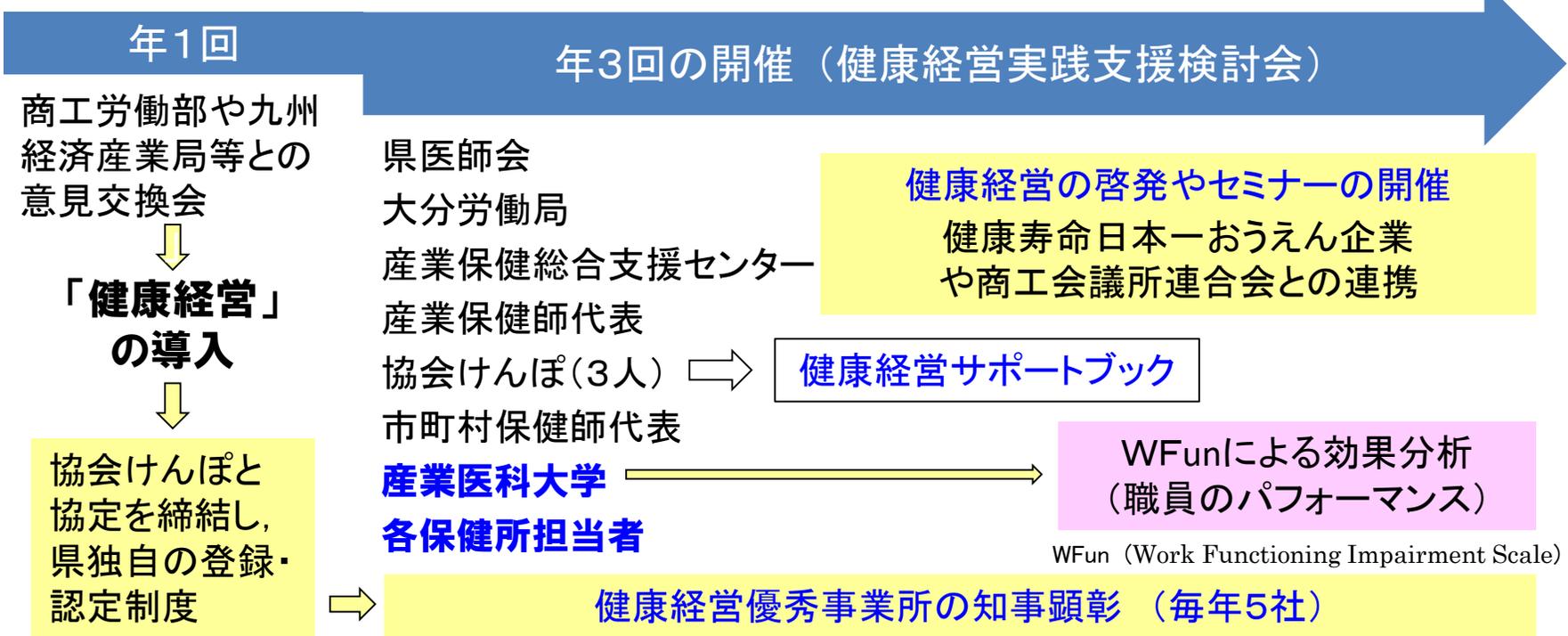
めざせ**認定!**

- ①健診受診率100%
- ②事業主主導の健康づくり
- ③受動喫煙対策
- ④職員に健康情報を提供
- ⑤職場ぐるみの健康づくり

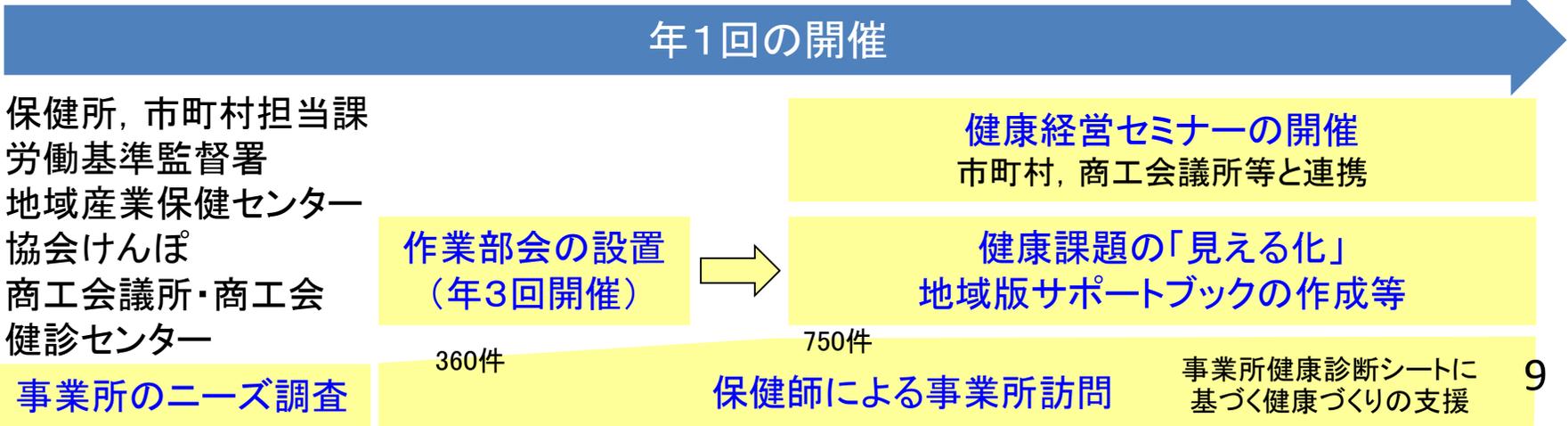
# 大分県における地域・職域連携の経過（2）

県の協議会

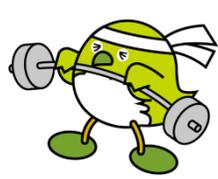
H26 H27 H28 H29 H30



二次医療圏の協議会



# 「健康寿命日本一おうえん企業」登録制度



CSV (Creating Shared Value) の理念の導入

大分県は、**お**おいた県民の**う**んどう (運動習慣) **え**いよう (栄養バランス) **か**んきよう (社会環境) 等の改善を応援する物資・場所・人材・技術・情報・媒体・資金を提供いただける企業を募集

## 企業メリット

- ① 企業イメージの向上  
(県HPに企業名掲載)
- ② 新たな企業価値の創造  
(商品開発やビジネスモデルの創造)

win-win

## 県民メリット

健康寿命の延伸



## 登録企業及び団体 ... 登録例 (一部、順不同)



### 【食品・医薬】

花王  
カゴメ  
キューピー  
ヤクルトヘルスフーズ  
富士甚醤油  
フドーキン醤油  
武田薬品工業  
大塚製薬・食品



### 【金融・保険】

大分県信用組合  
大分銀行  
日本生命  
第一生命  
東京海上日動



### 【小売・卸売】

トキハインダストリー  
紀伊國屋書店  
アステム  
ヤマエ久野  
大分ヤクルト販売  
安東商会  
モスフードサービス



### 【スポーツ】

Classo  
Treceed  
ルネサンス  
MASUKO  
県ウォーキング協会  
県ノルディック・ウォーク  
連盟  
大分フットボールC



### 【報道機関】

大分放送  
テレビ大分



### 【交通機関】

J R九州



### 【大量調理】

めん食

### 【その他】

県医師会  
県歯科医師会  
県薬剤師会  
県看護協会  
県理学療法士協会  
県社協 ... 等

# 健康経営登録事業所の取り組みの実態

## 大分県独自の認定要件別の達成状況（H26年度実績報告）

### ① 健診及び有所見者への対応

・健康診断受診率 及び健康診断の結果把握100%

54%

### ② 事業主による主導的な健康づくりの推進

・社内での呼び掛け や 事業所の健康リスク把握

98%

### ③ 受動喫煙防止対策

・事業所建物内禁煙 又は 敷地内禁煙の実施

79%

### ④ 健康情報の定期提供

・最低月1回の健康情報の社員への提供

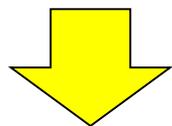
79%

### ⑤ 事業所ぐるみの健康増進の取組

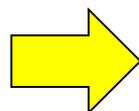
・健康イベントの開催 又は社外イベントへの参加

42%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



事業所ぐるみの健康増進の取組  
がボトルネックになっていた！



### 県が主催する職場対抗の健康づくりイベント

- 歩いて健康企業 No.1決定戦(H26年度～ )
  - 働き盛り健康見える化促進事業(H27～29年度)
- 活動量計「ホコタッチ」による生活歩行年齢<sup>11</sup>

# 働き盛りの健康みえる化促進事業(H27~29年度)

【対象】 認定されなかった健康経営登録事業所  
(25事業所 計714人が参加)

事業所単位で健康の「みえる化」及び健康的な生活習慣への「動機付け」を図る

希望する健康経営登録事業所

## ①事業所ぐるみの取組促進



## ②実践

協会けんぽ大分支部や保健所  
(保健師等) によるサポート

## ⑤事業所従業員全体の健康状態のみえる化



## ICTを活用した個人への支援

### ③ホームページ等による管理

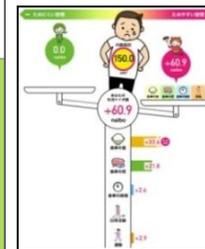
### ④個人の健康「みえる化」 アドバイスの提供



身体活動量  
等の記録  
体重の記録

+

生活習慣の問診  
内臓脂肪年齢  
生活歩行年齢



# 事業所における健康経営実践のための県の役割

## ①優れた取組の見える化

優秀健康経営事業所の取組冊子化  
健康経営サポートニュース（月1回）



## ②県保健師等による事業所訪問

年間のべ**750**社（29年度）

### 取組① 社員一人一人が『健康』を意識して生涯元気に!!

健康診断の受診率は毎年100%で、結果については医師からの意見聴取を行い、受診勧奨や生活するうえで注意する点などを記載した手紙を本人に手渡しするようにしています。特定保健指導の対象になった人については必ず指導を受けてもらうようにしています。

また、昨年度から努力義務となっているストレスチェックも実施しており、定年を迎えるまで、またはそれ以降も心身ともに元気な日々が過ごせるようサポートしています。



毎年恒例の敷地内でのお花見

## ③事業所における健康づくりイベントの提供

歩いて健康  
No.1決定戦

**1,857**人（**215**チーム）参加（29年度）

## ④健康経営セミナーの開催（おうえん企業、商工会議所等との協働）



職場☆健康増進企画 おおいた健康応援キャンペーン

**おおいた健康経営セミナー**

## ⑤認定事業所へのインセンティブの付与

県の制度融資（働き方改革等推進特別融資）で運転資金を低利で融資  
ハローワークの求人票に、健康経営認定事業所である旨の記載

# 大分県における健康経営の推進（成果）

【登録】1,200事業所

【認定】309事業所（H30年3月末）

## 認定要件別の達成状況（H28年度実績報告）

県独自の認定要件

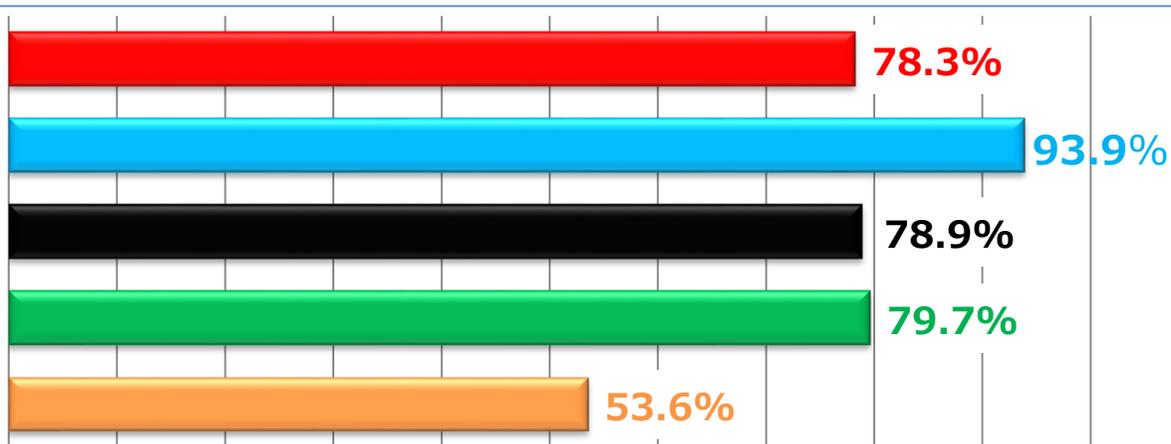
① 健診及び有所見者への対応

② 事業主による主導的な取組

③ 受動喫煙防止対策

④ 健康情報の定期提供

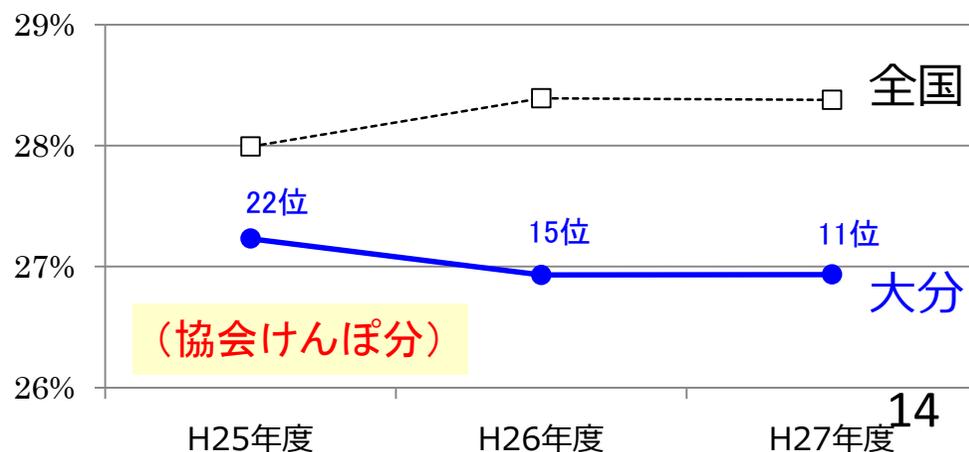
⑤ 事業所ぐるみの健康増進の取組



## 特定健診受診率（被保険者）の向上

	H25年度	H26年度	H27年度
健康経営登録事業所	74.6%	83.0%	<b>86.1%</b>
大分支部全体	62.2%	63.7%	65.5%

## 特定健診「メタボ+予備群」割合の減少



# 大分県における地域・職域連携の推進の意義

- 「課題の共有」に終わらず、解決の方向性を共有  
方針として、健康経営を導入したことで、ブレイクスルー！
- 認定要件により「健康経営」がめざす姿を具体的に示した  
何をすれば、健康経営なのかをイメージできた！
- 知事顕彰のために、詳細な取り組みのヒアリング  
優れた事業所の取組の「見える化」とロールモデルの提示
- 知事顕彰により、健康経営事業所が評価される仕組み  
健康経営に対する事業所のインセンティブに
- 事業所訪問による健康づくりに関する具体的な支援  
集団に対する健康支援という保健師の「専門性」の発揮
- 健康寿命日本一おうえん企業など多様な主体との連携  
金融・保険会社とのwin-winの関係での協働
- 産業医科大学との協働による「健康経営」の評価

# 地域・職域連携の推進における今後の課題とその対応

- 従業員の健康づくりに関心の薄い事業主へのアプローチ  
関心のある会社は全体の1割程度？  
→ 事業主に対して、取組の意義をアピールする  
「健康経営」による職員のパフォーマンス向上の検証  
大学や高校の就職担当者等求職側への説明会
- 職域における健康づくりを推進するためのリソースの不足  
健康経営事業所の増加 1,269社（平成30年末）  
→ 「健康経営推進員」の養成  
社会保険労務士，中小企業診断士，商工会議所の  
経営指導員，金融・保険会社の職員を対象に養成
- 職場ぐるみの健康づくりを推進するためのツールの不足  
職場で楽しみながら，健康づくりを継続する工夫が必要  
→ ヘルスケアポイント等による無関心層へのアプローチ<sup>16</sup>

# 健康アプリ おおいた歩得(あるとっく)の特長

## 職場ぐるみの健康づくりをサポート

- ① 歩いてポイントをためる
- ② 健診受診でポイントをためる
- ③ 健康づくりイベント等に参加でポイントをためる
- ④ 職場でグループ設定  
グループ間、グループ内で獲得ポイントを競う



3,000ポイントで、  
『おおいた歩得カード』



協力店で特典をゲット  
(現在, 331店舗)

- ★ 飲食店でコーヒーサービス
- ★ 1000円以上購入で10%オフ
- ★ スポーツジムで無料体験

歩数がグラフ化される他、  
健康情報を入力し、日々の  
健康管理にも活用できる！

体重や血圧、健康状態などを  
入力すると、日々の身体の変  
化や体調をグラフ化して、体調  
の変化を「見える化」



# 「おおいた歩得」における歩数変化

